

愛知県プレスクール事業

「プレスクール実施マニュアル」 付属DVD

〔平成21年度 マニュアルを活用したモデル事業
（於 東浦町立石浜西保育園）の記録〕

作成：愛知教育大学

外国人児童生徒支援リソースルーム

【監修】岡田 安代

【編集】伊藤(小林) 有加

はじめに

本DVDは、愛知県プレスクール事業「平成21年度マニュアルを活用したモデル事業」の記録です。

モデル事業は、東浦町立石浜西保育園において、平成21年11月16日から22年3月12日までの間、週4回の頻度で実施されました。参加児童は、同保育園に在籍し、平成22年度4月に小学校に入学する予定の外国人児童11名です。それぞれの児童の母語はポルトガル語・スペイン語・タガログ語・ベンガル語等ですが、指導開始時点で日本語をある程度理解する児童が大半であったため、児童の日本語力と性格などを考慮して以下の4つのクラスを編成しました（平成21年度プレスクール事業実施報告書参照）。

13:00~13:20(個人指導)	A, C
13:30~14:10	D, E, F, G
15:00~15:45	H, I, J, K
16:00~	補講など

授業は、【付属資料1】（プレスクール授業フローチャート）に示されるように綿密な計画のもとに実施されました。本記録は、約4か月間（全58回）の活動のうち、指導開始15日目、31日目、39日目、56日目の授業をビデオ撮影し、H, I, J, K児の所属するクラスを中心にまとめたものです。

【映像1】では、指導開始31日目の45分間の授業を約15分間の映像に編集し、一日の授業の流れが見られるようにしました。

【映像2】は、指導開始の11月から終了の3月までの間の、「あいうえお」の学習における子どもの変化を追ったものです。

【映像3】は、各指導項目ごとに4か月の間の指導の過程を示すものとなりました。

「プレスクール実施マニュアル」で説明されているさまざまな活動を、実際に映像で見ることで、より具体的なイメージを持っていただけることと思います。

ただ、もちろんのことですが、この授業例が唯一絶対のものというわけではありません。教育現場によって、子どもの様子も指導のための場所や実施回数等も異なることと思います。それぞれの教室の実態にあわせて応用していただければ幸いです。

映像1 「授業の様子 31日目」

プレスクール授業の概容を知っていただくために、授業開始31日目（2010年1月26日）に実施された45分間の授業を約15分の映像に編集しました。

映像で取り上げたクラスに参加する児童は以下の4名ですが、本時は、内1名が欠席しています。

<講師> 又野菜々子

<参加児童> 石浜西保育園に在籍する児童 4名

<指導開始時 語彙調査成績(100点満点)>

	H	I	J	K
日本語	91	61	84	58
母語	(タガログ語) 未調査	(ポルトガル語) 90	(スペイン語) 87	(ポルトガル語) 86

	活動内容	指導の留意点	活動の目的
はじめ	授業開始の挨拶	・小学校での挨拶と同様に。	・学校生活の準備。
	点呼	・名前を呼ばれたら返事をする。 ・「元気ですか」と聞く。 ・「元気じゃない」と答えたら理由を聞く。 ・「今日は何月何日ですか」	・学校生活の準備。 ・健康チェック。 ・元気じゃない時の理由の表現の導入。
	カレンダーにシールを貼る	・カレンダーの今日の日付にシールを貼る（シールの色は各曜日に対応）。	・月日の言い方の導入。 ・色の認識と表現の確認。 ・数字の確認。
	天気	・「はれ・あめ・くもり」	・天気を表す言葉の導入。
	今日の授業内容の確認	1 手をあげる練習をします。 2 「あいうえお」の歌をうたいます。 3 カードの練習をします。 4 ひらがなの練習をします。	・授業の構造化・意識化。 ・他人の話をきちんと聞く習慣をつける。

	活動内容	指導の留意点	活動の目的
語彙復習	カードを使って既習語彙の復習 (子どもには「手をあげる練習」)	・個別のものの名前の他にそれを総称する「くだもの」「かぞく」などの語があることを認識させる。 本時は「かぞく」の復習。	・手をあげて答える練習 ・他人の答えを聞く練習 ・既習語彙の復習 ・上位語・下位語概念の意識づけ。
あいうえお(1)	あいうえおの歌	・童謡「ももたろう」のメロディーで。 ・一人一行ずつ順に、速く歌う。	・五十音表に慣れる。 ・他人の歌を聞く。
語彙	もののなまえの導入とテスト (子どもには「カードの練習」)	・導入する語は一度に約10語。 ・＜導入→復習→テスト＞の活動の内、本時は「くだもの」のテスト。	・理解し使える語彙を増やす。
あいうえお(2)	ひらがな文字の導入と書く練習 (子どもには「ひらがなの練習」)	・1回に5文字程度を導入。 ①形の確認・書き順 ②空書き ③かっこ悪い字 ④プリントを渡す ⑤なぞりがき ⑥書く練習	・ひらがな文字の導入。 ・書く練習。
おわり	ごほうびパズル おわりの挨拶 授業の片づけ	・マス目の空欄に今日のシールを1枚貼る。その時「○(数字) ください」と言わせる。 小学校の挨拶と同様に。 各自ファイルをロッカーにしまう。	・数の順序の確認。 ・のりを使う練習。 ・学校生活の準備。

* 授業では、指導者は日本語だけを使用し、日本語のやりとりの中で日本語の自然習得を促しています。母語は、子どもの気持ちを聞くなどの特別な時に、場所を変えて使用しました。できれば、母語による読み聞かせなどの場を別に用意するとよいと思います。

映像2 「子どもの変化 あいうえお（歌）」

プレスクールの指導の過程で子どもたちがいかに変容していったかを示す映像です。

「指導の過程を示す映像資料」のうち「あいうえお(1)」の映像(12分18秒)を約5分間の映像に編集しました。最初は、ももたろうの歌にあわせて「あいうえお」「かきくけこ」と歌うのさえも容易でなかった子どもたちが、しだいに、ひらがな一文字ずつの音を認識し、文字を読みながら「おえいうあ」とあ行を逆にも言えるようになる様子が捉えられています。他人の話を書くなど教室での態度も、ずいぶん変化しています。

映像3 「指導の過程」

2009年11月18日から2010年3月12日までに全58回実施されたプレスクール授業の内、以下4回の授業を撮影し、それぞれの指導項目ごとに「指導の過程を示す映像資料」を作成しました。

<撮影日>

1回目	2回目	3回目	4回目
12月14日	1月26日	2月9日	3月10日
指導開始15日目	指導開始31日目	指導開始39日目	指導開始56日目

<映像目次>

記号	DVD「プレスクール指導の過程」に入っている映像		時間
A	はじめ	はじめ (15日目・31日目・39日目・56日目)	14分40秒
B	あいうえお(1)	歌 (15日目・31日目) 太鼓 (39日目・56日目)	12分18秒
C	あいうえお(2)	文字の導入/書く練習「さしすせそ」(31日目)	20分33秒
		文字の定着 ひらがなジグソーパズル (39日目)	15分15秒
		文字と言葉1 絵カードと文字カード (39日目)	11分22秒
		文字と言葉2 言葉を読む (56日目)	5分56秒
D	語彙	導入(体の部位) (15日目)	5分26秒
		復習「どうぶつ」「くだもの」(39日目)	3分17秒
		テスト(くだもの) (31日目)	8分37秒
E	算数概念	ものを数える/数字の読み (15日目)	2分08秒
		ファイル/ごほうびパズル (15日目)	5分27秒
		数字の書き方の練習「6, 7」(15日目)	10分18秒
		数字の定着 数字ジグソーパズル (15日目)	6分19秒
		数の復習 絵と数字を線でむすぶ (56日目)	5分30秒
F	おわり	ごほうびパズル/おわりの挨拶/片付け (39日目)	2分09秒
G	教室のルール	ピースの貸し借り(ひらがなジグソーパズル)	5分45秒
		人の話を聞く	1分19秒
		プリントをとって次へ渡す/文字を書く時の姿勢	1分35秒
H	その他	授業前の準備 (56日目)	3分50秒
		すねた子どもの気持ちを代弁する (31日目)	2分05秒
		ポルトガル語に切り替える (15日目)	2分14秒
		ポルトガル語で注意 (15日目)	1分18秒

A はじめ

	活動内容	指導の留意点	活動の目的
①授業 15日目	授業開始の挨拶 点呼	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での挨拶と同様に。(最初は講師が先に挨拶)。 ・名前を呼ばれたら返事をする。 ・「元気ですか」と聞く。 ・「元気じゃない」と答えたら理由を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の準備。 ・学校生活の準備。 ・健康チェック。 ・元気じゃない時の理由の表現の導入。
②授業 31日目	授業開始の挨拶 点呼 カレンダーにシールを貼る 天気 今日の授業内容の確認	<p>(数字の読み書きの指導がすんだ段階でカレンダーを導入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今日は何月何日ですか」 ・カレンダーの今日の日付にシールを貼る(シールの色は各曜日に対応)。 ・「はれ・あめ・くもり」 <ol style="list-style-type: none"> 1 手をあげる練習をします。 2 「あいうえお」の歌をうたいます。 3 カードの練習をします。 4 ひらがなの練習をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月日の言い方の導入。 ・色の認識と表現の確認。 ・数字の確認。 ・天気を表す言葉の導入。 ・授業の構造化・意識化。 ・他人の話をきちんと聞く習慣をつける。
③授業 39日目	授業開始の挨拶 点呼 カレンダーにシールを貼る 天気 今日の授業内容の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・日直が代表して挨拶(マイク使用)。 ・今日の日付は黒板に書いてある(わからない時は見てもよい)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクを持つ人だけが話して、他の人は話さないことを指示。 ・考えてから手をあげることを指導(指してから答えが出ない時は5秒待つて次へ)
④授業 56日目	授業開始の挨拶 点呼 カレンダーにシールを貼る 天気 今日の授業内容の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・日直(マイクなし) ・今日の日付は子どもが言ってから黒板に書く。 ・「10にち」を「とうか」と言うことも導入。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板をみなくても今日の日付けが言えるように。

B あいうえお(1)〔五十音表／文字と音の対応〕

	活動内容	指導の留意点	活動の目的
①授業 15日目	あいうえおの歌	(童謡「ももたろう」のメロディーで) ・ピアノの前に移動。 ・先生について五十音表を1行ずつ交互に歌う。 ・速く歌う	・五十音表に慣れる。 ・移動の指示をきく。 ・行の感覚をつかむ。 ・他人の歌を聞く態度を養う。
②授業 31日目	あいうえおの歌	(童謡「ももたろう」のメロディーで) ・席で歌う。 ・五十音表を見ないで1行ずつ分担して順番に歌う。 ・速く歌う。	・文字と音の対応を認識する。 ・他人の歌を聞く態度を養う。
③授業 39日目	あいうえお太鼓	(リズムにあわせて) ・五十音表で文字を追いながら、「あ行」から1行ずつ分担して順番に歌う。	・文字と音の対応を認識。 ・他人の歌を聞く態度を養う。
④授業 56日目	あいうえお太鼓	(リズムにあわせて) ・五十音表の文字一文字ずつを読みながら、「あ行」から1行ずつ順に歌ったり、「お」から逆に「おえういあ」と歌ったりする。	・文字をおぼえる。

C あいうえお(2)〔文字の導入と書く練習〕

<p>文字の導入</p>	<p>「さしすせそ」の導入／書く練習（授業31日目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回に5文字程度を導入。 ①形の確認・書き順 ②空書き ③かっこ悪い字 ④プリントを渡す ⑤なぞりがき ⑥書く練習 ⑦プリントをファイルに綴じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがな文字の導入。 ・書く練習。 ・プリントを1枚取って他の人にまわす練習。 ・鉛筆を持つ時の姿勢に注意。
<p>文字の定着</p>	<p>ひらがなジグソーパズル（授業39日目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひらがな1文字のカードを3つのピースに分け、文字を再現するゲーム。 ・一度に既習の10文字「たちつてとなにぬねの」を3人で。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなを覚える。 ・「かして」「あとで」「いいよ」の言葉の導入とともに、ピースの貸し借りのルール（協力とゆずりあい）を身につける。
<p>文字と言葉1</p>	<p>絵カードと文字カード（授業39日目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①絵カードの絵を見てその言葉を表すひらがなをカードの中から探す。 ②ひらがなで書かれた言葉カードを読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの名前の確認。 ・ひらがなの確認。 ・言葉を文字で表す練習。 ・言葉を読む練習。
<p>文字と言葉2</p>	<p>言葉を読む（授業56日目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と言葉のカードを使って ①言葉を読む ②絵で確認 ③絵の意味の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉を読む練習。 ・言葉の意味の確認。

D 語彙

導入	<p>語彙の導入（体の部位）（授業15日目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1カテゴリーに10語ずつを順に導入。 <p>〈動物〉 〈体の部位〉 〈文房具〉 〈家族〉 〈果物〉 〈野菜〉 〈動詞〉 〈小学校で使うもの〉 〈学校施設〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・使用語彙を増やす。 ・個別のもの名前とともにそれを総称する「くだもの」「どうぶつ」などの語も導入。
復習	<p>導入した語彙の復習（授業39日目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードを使って手を挙げる練習とともに、「どうぶつ」「くだもの」などの語の復習をする。 <p>（各自に配られた5枚のカードのうち、「動物カード」「果物カード」を探す。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した語彙の確認と定着を目指す。
テスト	<p>テスト（授業31日目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1カテゴリー10語の〈導入〉〈復習〉が終わったら定着を測るテストを行う。本時は「くだもの」のテスト。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入した語彙の定着度確認。

E 算数概念

◇	<p>ものを数える／数字の読み（授業15日目）</p> <p>①カードの絵を見ていくつあるか数える。 ②数字カードを見て数字をいう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数の概念の導入。 ・数字を覚える。
◇	<p>ファイル／ごほうびパズル（授業15日目）</p> <p>①パズルの空欄の数字を言ってシールを1枚もらう（例「3ください」）。 ②シールをファイルにのりで貼る（やがて一枚の絵が出来上がる）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数字の読みと音の確認。 ・のりをつかって貼る練習。
◇	<p>数字の書き方の練習「6，7」（授業15日目）</p> <p>①形の確認・書き順 ②良い字と悪い字 ③黒板の字を見て、ラミネートをした紙にフェルトペンで数字を書く。 ④書いた字をティッシュで消して紙を返す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数字の導入。 ・書く練習。
◇	<p>数字の定着 数字ジクソーパズル（授業15日目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数字1文字のカードを3つのピースに分け、文字の再現をするゲーム。 ・一度に既習の数字5文字(6,7,8,9,10)を2人で。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数字の定着を図る。 ・「かして」「あとで」「いいよ」の導入とともに、協力とゆずりあいのルールを身につける。
◇	<p>数の復習（授業56日目）</p> <p>①「むすんでください」の言葉の導入と確認 ②プリントで「具体物の数・○の数・数の言い方・数字」を線で結ぶ練習をする。</p>	

F おわり

お わ り	<p>ファイル／ごほうびパズル（授業39日目）</p> <p>①パズルの空欄の数字を言ってシールを1枚もらう（例「3ください」）。</p> <p>②シールをファイルにのりで貼る（やがて一枚の絵が出来上がる）。</p> <p>終わりの挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日直が代表して挨拶（マイクをもつ）。 <p>ファイルをロッカーにしまう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数字の読みと音の確認。 ・のりをつかって貼る練習。 ・学校生活の準備。 ・かたづけの習慣付け。
-------------	--	---

G 教室のルール

◇	<p>ピースの貸し借り（ひらがなジクソーパズル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力とゆずりあいのルール
◇	<p>人の話を聞く（人の持っているカードを言う）</p>
◇	<p>プリントをとって次へ渡す／文字を書く時の姿勢</p>

H その他

◇	<p>授業前の準備（授業56日目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが自主的に授業の準備をして待つ。
◇	<p>拗ねた子どもの気持ちを代弁する（授業31日目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちに何か言われたために拗ねて課題に取り組もうとしない子どもに対して、子どもの傍らに行って子どもの気持ちを代弁する。
◇	<p>ポルトガル語に切り替える（授業15日目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語からポルトガル語の会話に切り替える時、メガネをはずして場面を変える。
◇	<p>ポルトガル語で注意（授業15日目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人の子どもに注意をする時、授業後残してポルトガル語で対応。

